

イエスの答え

マタイ 11章 2-11節

(そのとき) ヨハネは牢の中で、キリストのなさったことを聞いた。そこで、自分の弟子たちを送って、尋ねさせた。「来るべき方は、あなたでしょうか。それとも、ほかの方を待たなければなりませんか。」イエスはお答えになった。「行って、見聞きしていることをヨハネに伝えなさい。目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、らい病を患っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き返り、貧しい人は福音を告げ知らされている。わたしにつまずかない人は幸いである。」ヨハネの弟子たちが帰ると、イエスは群衆にヨハネについて話し始められた。「あなたがたは、何を見に荒れ野へ行ったのか。風にそよぐ葦か。では、何を見に行ったのか。しなやかな服を着た人か。しなやかな服を着た人なら王宮にいる。では、何を見に行ったのか。預言者か。そうだ。言うておく。預言者以上の者である。

『見よ、わたしはあなたより先に使者を遣わし、あなたの前に道を準備させよう』

と書いてあるのは、この人のことだ。はっきり言うておく。およそ女から生まれた者のうち、洗礼者ヨハネより偉大な者は現れなかった。しかし、天国で最も小さな者でも、彼よりは偉大である。」

説教

ヨハネは獄中から弟子たちをイエスのもとに使いに出します。そこでヨハネはイエスに質問します。

来るべき方は、あなたでしょうか。それとも、ほかの方を待たなければなりませんか。 11:3

イエスはここでハイ私がそうです、と答えればいいのに、例によって問いに問いで返すというか、なぞかけのような返事をします。

イエスはお答えになった。「行って、見聞きしていることをヨハネに伝えなさい。

目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病を患っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き返り、貧しい人は福音を告げ知らされている。わたしにつまずかない人は幸いである。」マタイ 11:4-6

実際に見ればわかるでしょ、という解釈でもいいのですが、もう少し丁寧にいえば、見たこと聞いたことを自分自身でそれぞれ考えて受け止めなさいと言っているようにも思えます。

さて、イエスは定義できないとある神学者はいいます。

イエスは救い主、当時のユダヤではメシアです。メシアはこうこうこういうものだ、という考え、難しい言葉で言えば定義ですが、そういうあてはめ方をすることはできない、という意味で神学者はイエスは定義できないと言っているようです。

いま日本では天皇の退位問題があります。ひらたくいってしまえば、天皇ご自身がもう年だからもうやめたい、といているということです。天皇がこういっているのに無視するわけにはいかないので、どうしようかって相談しているわけです。いまのきまりでは天皇は退位できないとなっているそうです。きのうテレビでこの問題の特集をやっていました。世論の9割以上が天皇退位に賛成しているそうです。でも政府は慎重に問題を取り扱い、退位はすんなりと決まりそうにありません。

原則論でいえば、メシアと同じように天皇も定義ができないはずなんです。天皇も人間なんだし、定年もあっていいよね、というノリで世論は退位を考えているようですが、天皇はただの人ではないので定年なんて考え方でくくってはちょっと問題ですよ。

創世記にアダムがものに名前を付ける場面がでてきます。

主なる神は、野のあらゆる獣、空のあらゆる鳥を土で形づくり、人のところへ持って来て、人がそれぞれをどう呼ぶか見ておられた。人が呼ぶと、それはすべて、生き物の名となった。創世記 2:19

名をつけるということはさっきからの言葉遣いでいえば、定義するというこ

とになります。ところで聖書では神に名前はありませぬ。名をつけることができなからなんです。神が塵からつくった人間＝アダムが創造主の名前をつけるなんてできないんです。でも神はいる。「わたしはある」という者だ、なんて神は自己紹介をしますが、そういうしかないのと、こういえば人間にもなんとか理解できるからそういつているのだとおもいます。

モーセは神に尋ねた。「わたしは、今、イスラエルの人々のところへ参ります。彼らに、『あなたたちの先祖の神が、わたしをここに遣わされたのです』と言え、彼らは、『その名は一体何か』と問うにちがひありません。彼らに何と答えるべきでしょうか。」神はモーセに、「わたしはある。わたしはあるという者だ」と言われ、また、「イスラエルの人々にこう言うがよい。『わたしはある』という方がわたしをあなたたちに遣わされたのだと。」

出エジプト 3:13-14

イエスの返事はそういう意味でいい答えなんですね。神がモーセに答える自己紹介よりもわかりやすい答えになっています。

聖書には書いていないのですが、イエスに誰かがお誕生日はいつですか？ってきいたらイエスがなんと返答するか興味があります。ハイ、12月25日ですという素直な返事は返ってこないとおもいます。

信仰中心にかんがえれば、自分にイエスが現れた、自分のところの中でイエスをメシアと信じた、その日がイエスの誕生日＝クリスマスなのかもしれません。主の降誕記念日があと二週間でやってきます。一人ひとりが恵みのうちにクリスマスを待つことができますように。